

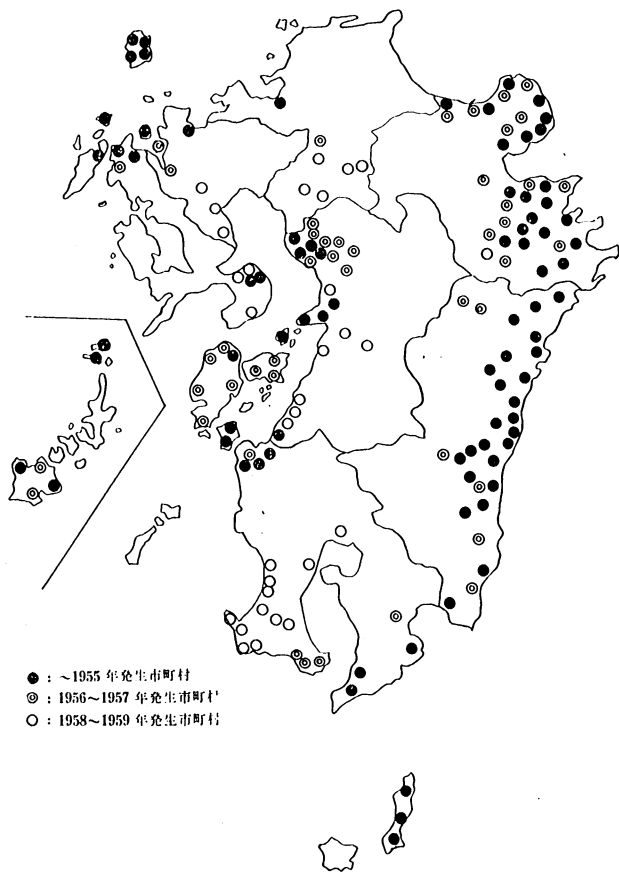
九州タバコ産地におけるヤサイゾウムシの分布 (第3報)

河野昌弘*・津曲彦寿*

KŌNO, M. and TSUMAGARI, H. Distribution of Vegetable Weevil (*Listroderes costivestris* Schoenherr) in Tobacco-Growing Districts of Kyushu. III.

ヤサイゾウムシの分布については、1955年より継続して調査し、既に九農研第17号及び第21号に報告した。ヤサイゾウムシは、1950年に大分県津久見市附近のタバコで発見されて以来年々分布区域を拡げ、1959年には九州全タバコ栽培地に拡がった。ヤサイゾウムシのような新来害虫類の伝搬経路を知る上に参考になると考えたので、1955年、1957年および1959年の発生地図を総合して伝搬のあしどりを検討する事にした。(挿図参照)

特に注目される点をとりあげてみると次のようである。(1) 1950年に発見されてから九州全域のタバコ産地に分布するのに10年を要した。(2) 1955年の分布をみると九州の東海岸、西北部及び有明海沿岸の3つの分布集団に分かれる。これらを中心にしてその周辺に拡大した。(3) 分布の拡がり方には2つの型がみられる。即ち1つは集団地から除々に拡がる漸進拡張型であり、他は突発的に飛火する飛火拡張型である。飛火拡張型は海岸地域で起り、特に港の附近に著しい。これに対して漸進拡張型は平地・山間部で多くみられ、先ず飛火拡張型で侵入した後、それが漸進拡張型に変つて分布が拡大していく傾向がみられた。



* 鹿児島たばこ試験場